

鯉ヶ沢町病後児保育通信

平成 28 年

秋号

おひさま



《感染症にそなえましょう！》

～胃腸炎・インフルエンザなどなど感染症予防は大事！予防接種もお忘れなく！～

木の葉の色が変わり始め、秋の深まりが目に見えてわかるようになってきました。昼夜の気温差がある季節でもあるので、健康面には十分気をつけたいものですね。「おひさまルーム」は、夏場は利用者が少なかったものの秋の訪れとともに、利用者が増えてきました。咽頭結膜熱、肺炎等に罹ったお子さんが2～3日間ゆったり過ごし、体力の回復を図ることができました。これからの季節はインフルエンザや胃腸炎などが流行し、体調を崩しやすくなりますので、栄養のあるものを食べ、手洗い・うがい等をして日頃から予防に心がけましょう。

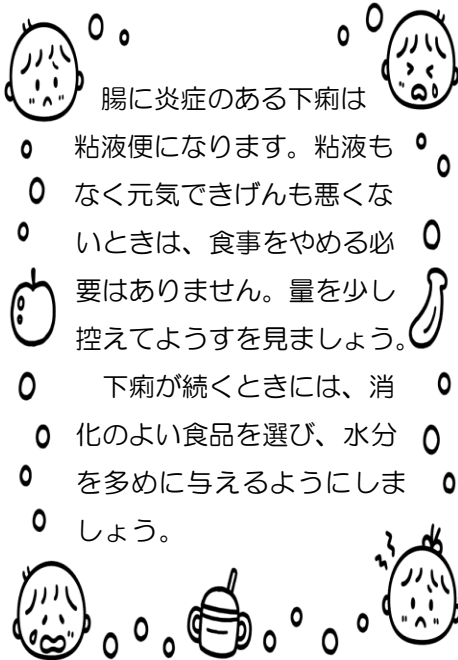
《利用者の声をご紹介します》

～こんなに頼れる♡「おひさまルーム」～

我が家は子どもがとても風邪を引きやすく、しかも「あ、鼻水垂らし始めたな～」と気付いた次の日は酷い咳になって、あつという間に気管支炎や肺炎になるような体質だったので、しょっちゅう仕事を休まなければなりません。まだ咳が結構残っていて、「できれば大事を取って休ませたいなあ」と思っても、それ以上仕事を休むことが出来ず、子どもに無理をさせて登園させなければならない事も多くありました。そんなとき、「おひさまルーム」は本当に強い味方でした。他の子とは別の専門のお部屋で、看護師さんなど専門のスタッフが対応してくれます。子どもの体調をケアしてくれるだけでなく、遊び相手も上手で、我が子がおひさまルームの利用を楽しみにしていることが分かった時は、「あんまり利用しないで済む方が良さただけだなあ(´_`)」と思いつつも、安心できました。頼れるおじいちゃんおばあちゃんが居ないパパママは、多く居ると思います。「子どものために自分が無理するのは当たり前」と思っているかもしれませんが、治りきっていないのに登園させることは、子どもにも無理させることになっちゃいます。一日の様子を細かく教えてもらうことが出来て「明日登園しても大丈夫ですよ！」などのアドバイスもしてもらえます。大事なお子さんに無理をさせないためにも、「おひさまルーム」を利用してみませんか？

【子どもの病気&ケガシリーズ】

～下痢編～



腸に炎症のある下痢は

粘液便になります。粘液も

なく元気できげんも悪くない

ときは、食事をやめる必要

はありません。量を少し

控えてようすを見ましょう。

下痢が続くときには、消

化のよい食品を選び、水分

を多めに与えるようにしま

しょう。

《病後児保育『おひさまルーム』ご利用について》

☆日 時：月曜日～土曜日 午前7時30分～午後6時

※ただし、日曜日、祝日、お盆（8/13～15）、年末年始（12/29～1/3）、

鯉ヶ沢こども園の行事等により利用困難な日はお休み

☆料 金：500円～2,000円（給食・おやつ代含む） ※利用条件により料金が異なる

☆対象児童：鯉ヶ沢在住の満1歳から小学6年生までのおひさま

☆申込手続：利用日前日までに鯉ヶ沢こども園へ電話申込のうえ、利用申請書を提出 ※事前に登録申請が必要

☆持参する物：着替え・オムツ・医師の処方する薬など

☆その他：いつ頃から病後児保育の利用が可能なのか、必ず医師に確認して下さい。

◇詳しくは鯉ヶ沢こども園にお問い合わせください。（☎72-2067）

※病後児保育通信は不定期発行です。

